

## 第5学年B組 算数科学習指導案

授業者 井谷 紀子  
研究協力者 佐藤 学、加藤 慎一

### 1 単元名 単位量あたりの大きさ

#### 2 子どもと単元

##### (1) 子どもについて

子どもたちは、これまで「2つの量の変わり方」の学習で、日常生活の中から伴って変わる二つの量を見つけて問題づくりをしたり、「合同な三角形、四角形」の学習では、教室や学校の中にある合同な形を探す活動をしたりするなど、日常生活の中から算数を見付ける活動に取り組んでいる。また、既習事項を活用し、数直線や図を用いて、小数のかけ算やわり算の計算の仕方を考えるなど、これまでに学んだことを蓄積し、「学びのものさし」として使いながら問題を解決しようとする態度が育ってきている。

一方で、数直線を用いて二つの数量関係を整理して捉え、式に結び付ける活動を繰り返し行ってきたが、計算の仕方や筆算の仕方のみを覚え、その意味理解まで十分でない子どももいる。速さに関しては、日常生活において、徒競走で走る速さや自動車が移動する速さなどを、「速い」、「遅い」と表現して捉える経験をしてきているが、速さの意味や表し方、概念は漠然としたもので十分ではないと考えられる。

##### (2) 単元について

本単元では、異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしていくことを目指す。速さは、時間と道のりという異種の二量から、単位時間あたりに移動する長さという考え方で捉える。一方で、日常生活では、速さを一定の長さを移動するのにかかる時間として捉えることがある。速さを、単位時間あたりに移動する長さとして捉えると、速いほど大きな数値が対応することになり、一定の長さを移動するのにかかる時間として捉えると、速いほど小さな数値が対応することになる。異種の二量を同時に考える必要があるため難しい内容である。

そこで、速さを比べる場合には、公式を覚えるだけでなく、除法によって1あたりの大きさを求めていることの意味について理解し、自分の言葉で表現できるようにすることが大切であると考え。速さの意味や表し方について、数直線や言葉を用いて具体的に理解していく姿を期待し、本単元を設定した。

##### (3) 指導について

速さなど単位量あたりの大きさの学習においては、異種の二つの量の割合として捉えられる数量を比べることの意味を十分理解できるように指導していく。その際、異種の二つの量の関係を数直線に表す活動や、言葉、式を活用して、比べ方や表し方の根拠を説明することができるようにする。また、混んでいることはどういうことかを動作化したり、自分の歩く速さや走る速さを測定して日常生活の中の速さと比べたりするなど、具体的な場面を設定することで、実感を伴いながら混みぐあいや速さの比べ方、表し方を考えられるようにする。

速さの導入では、視覚的に問題場面を捉えるとともに、時間と距離という二量に着目し、一方を単位量でそろえて比べるとよいという考えを引き出すことができるように、ICT機器を活用し、教師が距離の違うコースを実際に走っている映像を取り上げる。また、子どもが自分事として問題解決に向かうことができるように、生活の中から見付けた問題や友達との考えの違いを基に、学習問題を設定する。さらに、日常生活で使われている速さの意味やおもしろさについて理解し、学習したことを生活の中で活用していくよさを実感できるように、自分の歩く速さと友達の時速とを比べたり、表し方を工夫したりする活動を大切にして、指導を展開していく。

問題解決の過程で用いた単位量あたりの大きさの考え方や新たに手に入れた知識・技能を共有できるように、学びの足跡を掲示する。さらに、振り返りでは、プレゼンテーションソフトに新たな気付きやキーワードをまとめる活動を設定する。問題解決の際に、子どもがいつでも見返すことができるようにすることで、学びを振り返ったりこれまでの考えに目を向けたりしながら問題解決に取り組めるようにする。このようにして、単位量あたりの大きさという考えを用いて速さを比べ、速さの意味や表し方について理解を深め、「学びのものさし」を更新できるようにしていきたい。

#### 3 単元の目標

- (1) 速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方や比べ方について理解し、それらを求めることができる。 (C-15・16)
- (2) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常に生かそうとしている。 (C-17)
- (3) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。 (ア・ウ)

4 単元の構想（総時数 13 時間）

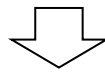
平均  
平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法を考える力を身に付ける。



本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1 2	(1、2) 混みぐあいの比べ方や表し方を考え、単位量あたりの大きさを理解する。 ・人数が多い方が混んでいるよ。 ・人数も面積も違うと比べられないな。 ・公倍数を使って考えよう。 ・人数をそろえて比べよう。 ・面積をそろえて比べよう。	・問題場面を把握し、「混んでいる」とはどういうことかを理解できるように、問題場面を動作化する。 ・学びをいつでも振り返って確認したり、問題解決の過程で用いた見方・考え方を書き加えることで「学びのものさし」を更新したりすることができるように、単元を通して、新たな気付きやキーワードをプレゼンテーションソフトにまとめ、学びを積み重ねる振り返りの場を設定する。	・混みぐあいの比べ方や表し方、単位量あたりの大きさの意味を理解している。〈C-15〉 ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じた大きさの比べ方や表し方を考えている。〈C-15〉
3	(3) 1kmあたりの人口を人口密度ということを知り、求め方を考える。 ・1あたりの大きさを比べてみよう。 ・一人あたりの面積で比べると、数が小さくなるから、どちらが混んでいるのか分かりにくいな。 ・1kmあたりだと、人数が多い方が混んでいるね。	・一人あたりの面積で表すよりも1kmあたりの人口で比べる方が数値を捉えやすく、数の大きさを比べやすいことに気付くことができるように、どちらの考えも取り上げ、比較検討する場面を設定する。	・人口密度の意味と求め方を理解している。〈C-17〉
4	(4) 混みぐあい以外の数量の関係を単位量あたりの大きさを求めて比べる。	・単位量あたりの大きさで考えることの実感できるように、畑の農作物のとれる量やものの値段など、日常生活と結び付いた問題を取り上げる。	・単位量あたりの大きさの考えを用いて、異種の二つの量の割合として捉えられる数量を比べたり表したりしている。〈C-15、16〉
5	(5) 単位量あたりの大きさを求め、その値を用いて解決するという2段階の問題に取り組み、理解を深める。	・解決の見通しをもてるように、着目すべき二量の関係を数直線で表す活動を取り入れる。	
6	(6) 「速さ」とは何か、「速い」「遅い」とはどんなことなのかを考える。 ・距離が同じなら、かかった時間が少ない方が速い。 ・時間が同じなら、進む距離が長い方が速い。 ・速い乗り物や動物を調べてみたい。	・自分事として問題解決に向かうことができるように、子どもが生活の中から見つけた問題や友達との考えの違いを基に学習問題を設定する。 ・日常生活にある速さに目を向け、学習に意欲的に向かうことができるように、いろいろな速さに関する資料を用意する。	・既習の学習を基にしながらか、速さに関する学習の見通しをもち、学習問題を設定している。〈ア、ウ〉
7 本時	(7) 時間と距離のどちらも異なる場合の速さの比べ方を考える。 ・走っている距離が違っていると、速さを比べられない。 ・時間と距離の二つに注目すればよいね。 ・どちらかを1とすれば、比べられないかな。 ・単位量あたりの大きさの考えが使える。	・問題場面を視覚的に捉え、時間と距離の二量に着目する必要性に気付くことができるように、映像を用いた問題提示を行う。 ・解決の見通しがもてるように、時間と距離の二量が分かれば、単位量あたりの大きさの考えを使って速さが比べられそうだということをおさえる。 ・速さが時間と道のりの二量の関係で捉えられるというイメージがもてるように、数直線や言葉、式を活用することを確認する。	・時間と距離の2つの量の関係に着目し、単位量あたりの大きさの考えを基に、速さの比べ方を図や式を用いて考え、説明している。〈C-17〉

8	(8) 自分の歩く速さや走る速さを調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>速さを実感できるように、実際に歩いたり走ったりして時間の変化を測定する場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩いたり走ったりした時の長さや時間の測定値から速さの変化を考えている。(ア)</li> </ul>
9	(9) 速さの表し方を基に、速さを求める公式を導き、時速、分速、秒速の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>速さを表すには時間と道のりの二つの量に関係していること、速さを比べるには、時間か道のりをそろえて考える必要があることを理解できるように、言葉や式、数直線を用いて、式や考え方の根拠を明らかにできるようにする。</li> <li>速さは単位時間あたりに進む道のりであるということを理解できるように、速いほど数値が大きくなることから、時間を1にそろえた方が分かりやすいことを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速さ＝道のり÷時間の関係を理解し、道のりと時間から速さを求めている。(C-16、ウ)</li> <li>時速、分速、秒速の意味を理解している。(C-16、ウ)</li> </ul>
10	(10) 速さと時間の関係から、道のりを求める公式を導く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>速さが一定のとき、時間が2倍、3倍になれば道のりも2倍、3倍になるという関係から、乗法を用いる意味を理解できるように、問題場面を数直線に表し確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道のり＝速さ×時間の関係を理解し、速さと時間から道のりを求めている。(C-16、ウ)</li> </ul>
11	(11) 速さと道のりの関係を数直線や既習の公式を使って表し、時間を求める方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式の暗記のみで終わらないように、単位量あたりの大きさの基本的な考えをおさえたり、数直線を用いて数量関係を確認したりする場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間＝道のり÷速さの関係を理解し、速さと道のりから時間を求めている。(C-16、ウ)</li> </ul>
12	(12) 日常生活で使う速さについて考え、問題解決に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の有用性を実感することができるように、日常生活で活用できる考え方を扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる時間の単位で表されている場合に、単位をそろえて速さを比べている。(C-15)</li> </ul>
13	(13) 学んだことを生かして、問題づくりをしたり、復習したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の学びを振り返ったり、日常生活に生かしたりすることができるように、問題演習、日常生活の中の速さに関する問題づくり、自分の歩く速さといろいろな速さを比べる活動、速さに関する動画集めなど、学習を選択できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位量あたりの大きさの考えを使って、身の回りにある速さを比べたり求めたりする問題をつくったり、解いたりしている。(C-17、18)</li> </ul>
<p><b>◎本単元で育む主な資質・能力</b></p> <p>異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。(C-17)</p>			



**5年 割合**

ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解するとともに、その意味や求め方を図や式などを用いて考える力を身に付ける。

5 本時の実際 (7/13)

(1) ねらい 時間と距離の二つの量の関係に着目し、単位量あたりの大きさの考えを基に、数直線や図、式を用いて考えることを通して、速さの比べ方を説明することができる。 (C-17)

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価															
7分	<p>① 問題を確認し、解決方法の見通しをもつ。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="3">問題 誰が一番速く走ったでしょうか。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時間 (秒)</td> <td>きょり (m)</td> </tr> <tr> <td>Aさん</td> <td>14</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Bさん</td> <td>14</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>Cさん</td> <td>9</td> <td>80</td> </tr> </table>	問題 誰が一番速く走ったでしょうか。				時間 (秒)	きょり (m)	Aさん	14	100	Bさん	14	80	Cさん	9	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を視覚的に捉え、時間と距離の二量に着目する必要性に気付くことができるように、映像を用いた問題提示を行う。</li> <li>○単位量あたりの大きさの学習と関連付けることで解決方法を導くことができるように、速さを比べるために着目すべき量は何か確認する。</li> <li>・実際には、スタートからゴールまで同じ速さで走ることはできないため、速さもならして考えることを、混み具合の学習を想起確認する。</li> <li>・自分の速さと比べたいという子どもの課題を想定し、100m走、50m走の速さのデータを用意する。</li> </ul>
問題 誰が一番速く走ったでしょうか。																	
	時間 (秒)	きょり (m)															
Aさん	14	100															
Bさん	14	80															
Cさん	9	80															
13分	<p>② 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             めあて 速さの比べ方を考えよう。         </div> <p>③ 自力解決をする。</p> <p>【解決の見通しがもてない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が一番短いのが速いのではないかな。</li> <li>・走った距離が同じなら、時間が短い方が速い。</li> <li>・走った時間が同じなら、距離が長い方が速い。</li> <li>・時間や距離がそろっていないから比べられないよ。</li> </ul> <p>【式はたてられそうだが、式の意味が分からない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・混み具合のときと同じようにできそう。</li> <li>・距離÷時間だと、何あたりの大きさになるのかな。</li> <li>・時間÷距離だと、何あたりの大きさになるのかな。</li> </ul> <p>【1秒あたりに進んだ距離で比べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1秒あたりの距離で比べよう。</li> <li>・1秒あたりに進んだ距離が長い方が速い。</li> </ul> <p>【1mあたりにかかった時間で比べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1mあたりの時間で比べよう。</li> <li>・1mあたりにかかった時間が短い方が速い。</li> </ul> <p>【距離や時間をそろえて比べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・距離をそろえて比べよう。</li> <li>・時間をそろえて比べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが学びを振り返ったり、単位量あたりの大きさの考えに目を向けたりできるように、学びの足跡を掲示しておく。</li> <li>・子どもの状況や困り感を見取り、個に応じた支援を図ることができるよう、クラウド型協同学習支援ツールで意思表示する場を設定する。</li> <li>・自力解決できずに困っている子どもには、時間と距離の関係を捉えて立式できるように数直線図や、困り感の程度に応じて選択できるヒントを用意する。</li> <li>・自分の説明の仕方に合った方法で表現できるように、ホワイトボードや画用紙、ツール等、表現方法を選択できるようにする。</li> <li>○同じ考えの友達と、自分の考えを確かめたり修正したりしながら、協同的に学習を進められるように、考えを交流する場を設定する。</li> </ul>															
15分	<p>④ 自力解決を基にして、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらも単位量あたりの考えを使っているね。</li> <li>・数が大きかったり小さかったりして、どちらが速いか分かりにくいな。</li> <li>・距離をそろえるのは、数が大きくなると分かりにくい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             速さは、1秒あたりに進むきょりや1m進むのにかかる時間など、単位量あたりの考えを使って比べる。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○解決方法が違っていても、単位量あたりの大きさの考え方を用いていることに気付くことができるよう、除法の意味や共通点に着目させ、価値付ける。</li> <li>○速いほど大きな数値を対応させた方が直観的に捉えやすく、時間を単位量として単位時間あたりの大きさで比べる方が分かりやすいことに気付けるよう、考えを比較する場を設定し、式の意味を確かめる。</li> <li>・三つ以上の量を比べたり、いつでも比べられるようにしたりするには、1あたりの大きさで数値化する方が都合がよいことをおさえる。</li> </ul>															
5分	<p>⑤ 適用問題に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             Dさんは、150mを19秒で走りました。AさんやCさんと走る速さを比べると、どちらが速いでしょうか。         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             時間と距離の二つの量の関係に着目し、単位量あたりの大きさの考えを基に、速さの比べ方を図や式を用いて考え、説明している。 (C-17) (発言・ノート・適用問題)         </div>															
5分	<p>⑥ 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の変容を感じることができるよう、新たな気づきや友達の考えで参考になったことなどの振り返りの視点を与える。</li> </ul>															

# 令和5年度 算数実践・研究計画

部 員	○猿田 千穂子、井谷 紀子、伊藤 智美
-----	---------------------

研究テーマ  
**個々の問いをもとに、主体的・協働的に学びをつなぎ、数学のよさを見いだしていく子どもを育む学び**

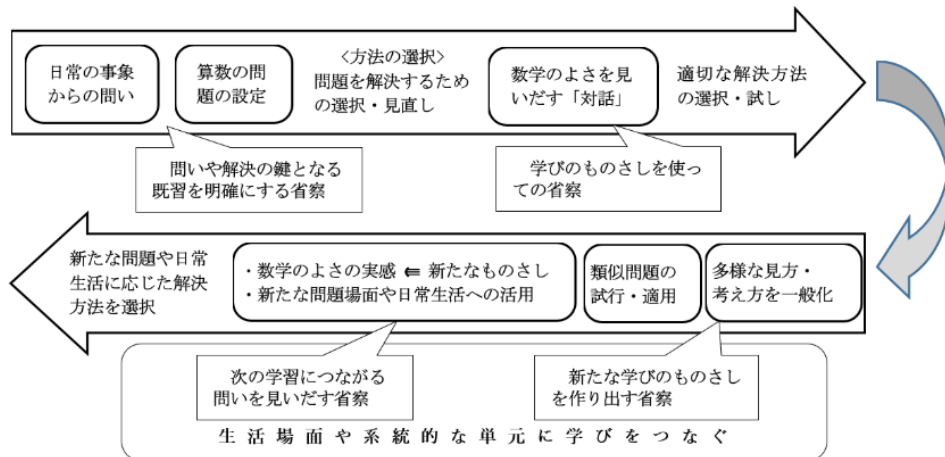
## 1 研究テーマについて

算数科では、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けること、統合的・発展的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表す力、学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことを目標としている。これまでに、問いをつなぎ、身に付けた見方・考え方を選び直したり試し直したりして問題解決し、新たな問いをもつ学習過程を繰り返し行ったことにより、「他の数や場面でも成り立つのか」「もっと速く分かりやすい方法はないのか」など算数科における「学びのものさし」を獲得し、学びをつなぐ子どもの姿を引き出すことができた。しかし、自力解決の際に、問いに対する解決の見通しをもつこと、また協働的な学びにおいて、統合的・発展的に考察したことを個々の学びに生かす点では課題が見られた。

このことを踏まえると、子どもたちが粘り強く解決したい問いを見いだしているのか、問いが自分事になっているかを改めて吟味する必要がある。問いが自分事になっていれば、解決の見通しをもつために「学びのものさし」を用いたり、友達の考えと比べたりしてよりよい解決方法を追究したいという目的が生まれる。そこで、課題を設定する場を工夫する。「学びのものさし」の共有や更新をするための場作りや、個々の課題解決と協働での課題解決の時間設定を工夫した単元構想をする。これらを基に、主体的・協働的に学びを進め数学のよさを見いだす子どもの姿を目指し、実践を積み重ねる。

### 算数科で目指す自律した子どもの姿

- ・「問いたい問い（生活の中から見付けたもの、解決したい困り感など）」を、仲間との対話をもとに試行錯誤し解決する過程で、考えを修正したり再構築したりしながら、自ら進んで数学的な概念を獲得していく姿
- ・獲得した新しい知識や方法等を次の学習やいろいろな場面で活用し理解を深める姿



図：算数科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

## 2 研究の重点 <○は具体的な取組の例>

### 自ら数学的概念を獲得し、学びを更新していくための支援の工夫

- 単元の導入で、困り感を見いだしたり、生活の中から算数の問題を見付けたりして課題設定する場や個の学びや協働的な学びを選択できる単元構想の工夫。
- 統合的・発展的に考察したことや個々の学びから生まれた問題を共有する場作りとして、ICTの活用を工夫する。



20	加法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
21	加法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
22	減法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
23	減法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
24	減法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
25	乗法について計算の意味と計算の仕方考える。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
26	乗法の意味を理解する。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
27	乗法の計算をする。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
28	除法について計算の意味と計算の仕方考える。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
29	除法の意味を理解する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	除法の計算をする。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
31	四則の混合した式を計算する。	A(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
32	既習の知識を利用して、いろいろな方法で計算結果の確かめをする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
33	様々な事象の中から法則性を見だし、交換法則・結合法則・分配法則などを場合に応じて活用する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
34	数量の関係に着目し、加法及び減法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
35	数量の関係に着目し、乗法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
36	数量の関係に着目し、除法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
37	数量の関係に着目し、数量の関係を文字を用いて表現したり、式の意味を読み取ったりする。	A(3)③			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
38	数を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
39	四則計算を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
40	概数や四則計算の見積もりを日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
41	既習を適用する。	A(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
算数科の各領域 の付けたい力 B 図形	1	形の特徴をとらえて、ものを弁別する。	B(3)①	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	図形の構成要素をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	図形の構成要素の関係をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	角の数量的な関係をとらえる。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	5	道具を用いて、図形を構成したり、作図したりする。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	図形間の関係をもとに、図形の構成の仕方をとらえる。	B(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	立体図形を見取り図や展開図で表したり、見取り図や展開図をもとに、立体図形を構成したりする。	B(3)②					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	図形のもつ美しさに気付く。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	図形の性質を生かしてデザインする。	B(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	図形の構成要素の大きさを数値化する。	B(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11	面積や体積の求め方を考え、計算によって求める。	B(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	図形のもつ機能的な側面を日常生活の場面に応じて活用する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	図形の性質を活用し、測量を行う。	B(3)④			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	平面や空間における位置を特定し、表現する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	15	既習を適用する。	B(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
算数科の各領域 の付けたい力  C 測定	1	直接比較や間接比較により、量の大小判断をする。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	任意単位を用いて、量を数値に置き換えて比較する。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	ある量を基準として別の量の大きさを表す。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	測る物に応じて適切な計器を用い、正確に測定する。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	適切な単位を用いて、量を表したり、比較したりする。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	量の分割や移動による保存性や普遍性に気付く。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	日常生活の中で時刻を読む。	C(3)②	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	時間の単位(日、時、分、秒)とそれらの関係をとらえる。	C(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	時刻や時間の計算をする。	C(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	長さ、重さ、かさの単位間の関係を統合的にとらえる。	C(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11	量の大きさの見当をつけ、それを実際の場面で活用する。	C(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	量や計器を目的に応じて適切に選ぶよさに気付き、進んで生活に活用する。	C(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	伴って変わる二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて表現する。	C(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	伴って変わる二つの数量の変化や対応の特徴を見いだす。	C(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	15	二つの数量の関係と別の二つの数量との関係を割合を用いて比べる。	C(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>



	16	割合や比を用いて数量の関係を比べたり, 知りたい数量の大きさを求めたりする。	C(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	17	伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を考察し, 見いだした規則性などを日常生活の場面に応じて活用する。	C(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	18	既習を適用する。	C(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
算数科の各領域										
の付けたい力										
D データの活用	1	統計的に解決可能な問題を設定する。	D(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	目的に応じてデータの集め方を考え, データを集める。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	データを分類整理し, 特徴をとらえる。	D(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	目的やデータの種類に応じて表やグラフに表す。	D(3)①			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	表やグラフから見いだした特徴や傾向から問題に対する結論をまとめて表現したり, さらなる課題や改善点を見いだしたりする。	D(3)①						<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	代表値の求め方や意味を理解し, 適切に用いる。	D(3)①						<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	事象の起こりやすさについて考察する。	D(3)①			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	起こり得る場合について落ちや重なりがないように調べる。	D(3)①							<input checked="" type="checkbox"/>
	9	結論について多面的・批判的に考察する。	D(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	既習を適用する。	D(3)①②	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

〈算数科の学びを支える「見方・考え方」〉

- a 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 基礎的・基本的な概念や性質などを理解しそれらを用いて説明する。
- b 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 具体的な操作活動をもとに説明する。
- c 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 数学的な表現を用いて説明する。
- d 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 筋道を立てて論理的に説明する。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

- 数 と 計 算 e 数の表し方の仕組み, 数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- 図 形 f 図形を構成する要素、それらの位置関係や図形間の関係などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- 測 定 g 身の回りにあるものの特徴などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- データの活用 h 日常生活の問題解決のために, データの特徴や傾向などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。